

8月27日

## テーマ：「目から梁を取りのけなさい」

### 聖書箇所：マタイの福音書7章5節

#### ◆今日のみことば

偽善者たち。まず自分の目から梁を取りのけなさい。そうすれば、はっきり見えて、兄弟の目からも、ちりを取り除くことができます。マタイの福音書7章5節

#### ◆メッセージ

家族の中でも、学校の中でも、大人も子どもも、ときどきけんかをします。そんな時、一方的に「あいつのせいで、おれはこんな目にあった！」と自分の中で怒りをためていることがありませんか。私たちは自己中心なので、気に入らないことは他人のせいにしてしまいます。

でも、ここで立ち止まって考えてみましょう。私たちはその人よりも偉いのでしょうか。私たちはその人の主人なのでしょうか。そうではありません。私たちが気に入らない人も、全ての人を造られたのは神さまです。どちらが正しいか、正しくないかを決めるのも神さまです。神さまは私たちの傷ついた心をよく見てくださり、「わたしにその心を預けなさい。」と言われます。「あなたの思いはよくわかった。でもあなたのほうには落ち度が全く無かったと言い切れるかな？わたしにはあなたも大事、彼も大事なのだ。だから二人とも仲直りして、わたしと一緒に歩みましょう。」と言われるのです。

神さまの言葉を聞いて、私たちが「わかりました。神さまごめんなさい。」と告白すると、今まで怒りに満ちていた心がスッと晴れて、私たちの心の中に神さまの愛があふれてきます。「相手が謝ったら、ゆるそう」という気持ちはなくなり、私の心にも落ち度がたくさんあるのだと分かり、その人に謝りたいという思いが与えられます。「御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、柔和、自制です。」(ガラテヤ5:22～23)という御言葉のとおり、変えられていきます。

聖霊さまは私たちの心の内側をきよめ、けんかした人のことも愛せるように心を変えてくださいます。今日も家族や学校や仕事などそれぞれの場において、イエスさまの赦しを味わっていきましょう。

#### ◆お祈り

「イエスさま。すぐに人をさばこうとする罪深い私を、赦して下さりありがとうございます。今日も造り主なる神さまを見上げて、私の周りの人を愛することができますように。」

(愛宕山教会牧師 武安宏樹)

